

## 召天者記念礼拝

- \*パウロはアテネに来て、オリンピア12神のような多くの偶像を見た。日本と同じようにギリシャ人は次々と新しい神を造り出していた、と言ってよい。アレオパゴスの丘で、スピーチをする。町に「知られない神に」と刻まれた祭壇があるのを見たと言い、そこから聖書の神を説く。
- \*「この世界とそこにあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みになりません。」（使徒17：24）人間が造った神ではなく、この世のすべてを造られた神であるから、どんなに大きな建物を造っても入りきるものではない。人間が神の壮大な建物の中にいるのである。また、聖書のまことの神は、人間に色々面倒を見てもらう必要がない。逆に、人間が神にいのちを与えられ、生きるのに必要なすべての者を与えられているのである。
- \*「神は、ひとりの人からすべての国の人々を造り出して、地の全面に住まわせ、それぞれに決められた時代と、その住まいの境界とをお定めになりました。」（17：25）聖書の神は「摂理」の神である。この世のすべての出来事やわざは神の主権により、神の愛の配慮のもとに動いている。その足跡が「歴史」である。
- \*「これは、神を求めさせるためであって、もし探り求めることでもあるなら、神を見いだすこともあるのです。確かに、神は、私たちひとりひとりから遠く離れてはおられません。」（使徒17：27）すべての人は創造主である神によって造られたので、最後はそのもとに帰る。それ故、神はこの世においてすべての人が神を見出し、神の偉大なわざを知るように望まれている。
- \*私たちの人生はしばしば荒波によって揺り動かされる。私たちは船長の指図によって正しい、安全な航海ができる。どのような航海であれ、船長が神ならば船は絶対安全である。古河教会の63年の歴史は教会の信徒とその家族によって道筋が造られた。私たちは今も港に向かって航海をしている。私たちは同じ船に乗っている「神の家族」である。船長である神を信頼してこれからも共に前進したい。